# フリーアドレス設定器
# 取扱説明書

# 形名：TMAD01B

INDEX

## ■ 安全上のご注意

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

| | |
|---|---|
|  危険 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

[絵表示の例]

◇記号は危険を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

### 危険

指定以外の電池を使用しないでください。
発煙、火災の恐れがあります。

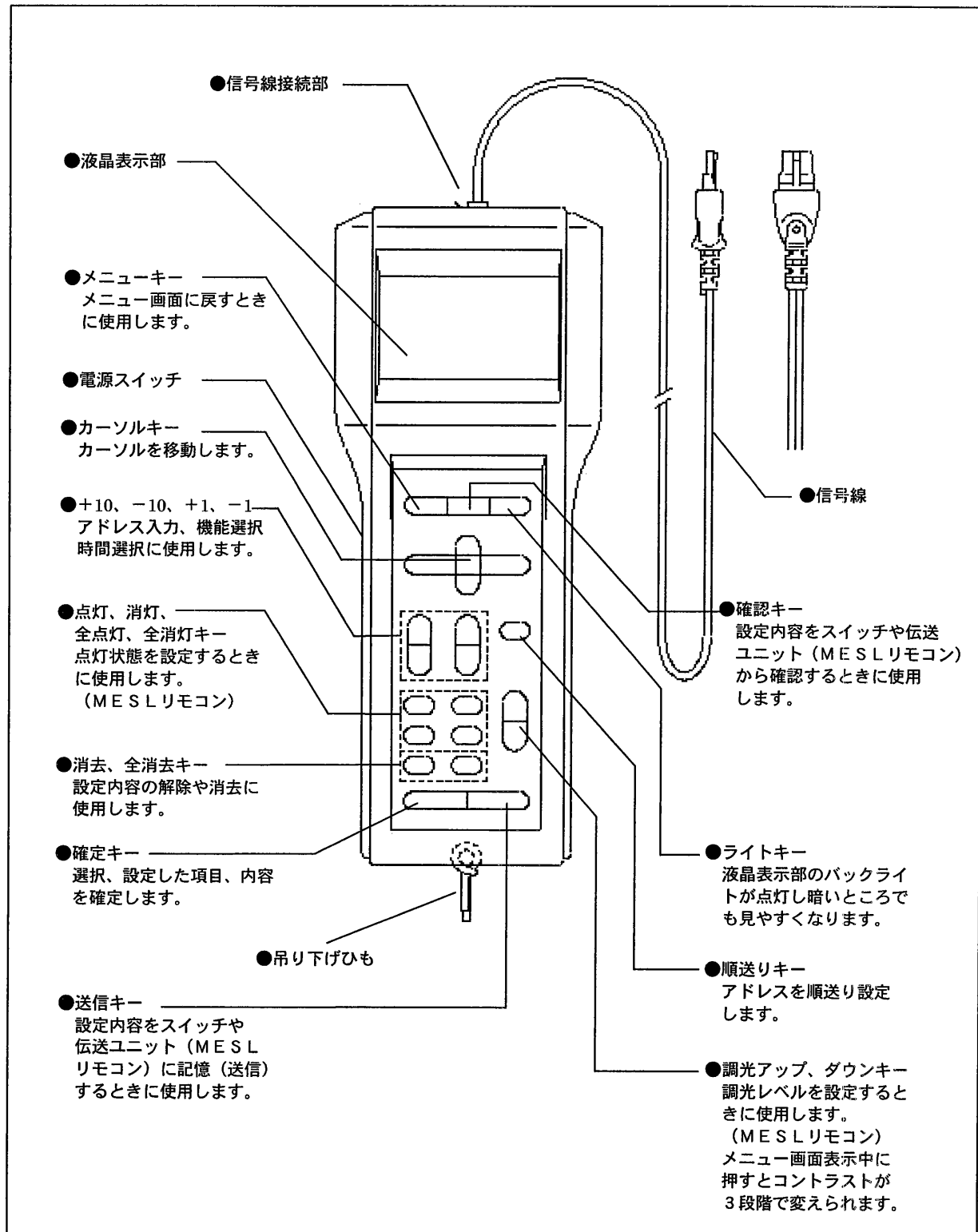
電池は正しい方向（＋，－）に入れてください。
逆差しすると発煙、火災の恐れがあります。

### 注意

自分で修理や改造、または分解をしないでください。
無断で改造等をしたことにより生じた事故については
一切責任を負いません。

直射日光のあたる所やストーブなどの近くに置かない
でください。

落としたり衝撃を加えたりしないでください。
液晶表示部のガラスが割れたり故障の原因となります。

# 1．各部の名称と機能

確認音（ブザー）

| | |
|---|---|
| ピー | 電源スイッチをＯＮにしたとき |
| ピッ | 送信、確認で通信が正しく行われたとき |
| ピッピッピッ | 誤ったキー入力をしたとき<br>通信異常が発生したとき |

## 2．機能の説明

ご注意・本取扱説明書は設定器Ｖ３．０のものです。Ｖ２．１の設定器に機能が追加されていますのでご注意ください。Ｖ３．０やＶ２．１は設定器液晶表示部のメニュー画面右上に表示されます。
・各種割付設定作業後、１分以上経過してから伝送ユニットの電源をＯＦＦしてください。

### ■機能／アドレス設定機能

◆フリーアドレス設定式壁スイッチ（１～４個用）の機能設定、アドレス設定及びタイマー機能設定を行うことができます。

| スイッチ形番 | 機　能 | タイマー機能 ＊１ | | 設定可能アドレス |
|---|---|---|---|---|
| | | 一時点灯 | 消灯遅延 | |
| ＴＭＳＦ０１Ａ | 個別 | 0.5分～120分 | 0.5分～120分 | ０－１～１２７－４ ＊２ |
| ＴＭＳＦ０２Ａ | グループ | 0.5分～120分 | 0.5分～120分 | ０－１～６３－４ |
| ＴＭＳＦ０３Ａ | パターン | 不可 | 0.5分～120分 | ０－１～３１－４ ＊３ |
| ＴＭＳＦ０４Ａ | オールオン＊４ | 不可 | 不可 | 固定 |
| | オールオフ＊４ | 不可 | 0.5分～120分 | 固定 |
| | 人感センサ入切 | 不可 | 不可 | ０－１～７－４ |
| ＴＭＤＳ０１Ａ | 調光（設定済） | 不可 | 不可 | ０－１～７－４ |

＊１タイマー値は 0.5 分，１分，２分，３分，５分，１０分，１５分，３０分，６０分，120 分を選択できます。
＊２ＭＥＳＬリモコンシステムの伝送ユニットがＴＭＵＤ１０Ａ，ＴＭＵＤ２０Ａ，ＴＭＵＤ１０ＮＡ，ＴＭＵＤ２０ＮＡの場合は０－１～６３－４までです。
＊３パターン番号３２－１以上は設定しないでください。
ＭＥＳＬリモコンシステムの伝送ユニットがＴＭＵＤ１０Ａ，ＴＭＵＤ２０Ａの場合は０－１～１９－４までです。また、オールオフの消灯遅延はできません。
＊４ＴＭＵＤ９０ＮＡはオールオンスイッチ、オールオフスイッチによる制御ができません。

◆フリーアドレス設定式制御Ｔ／Ｕ（調光端末器）のアドレス設定及び、フェードイン時間、フェードアウト時間設定を行なうことができます。

| 制御Ｔ／Ｕ形番 | 時間設定 | | 設定可能アドレス |
|---|---|---|---|
| | フェードイン | フェードアウト | |
| ＴＭＩＬ０８０Ａ | ０秒～６０秒 | ０秒～６０秒 | ０－１～６３－４ |
| ＴＭＩＬ１６０Ａ | ０秒～６０秒 | ０秒～６０秒 | ０－１～６３－４ |
| ＴＭＦＬ５０Ａ | ０秒～６０秒 | ０秒～６０秒 | ０－１～６３－４ |
| ＴＭＴＮ３１５Ａ | ０秒～６０秒 | ０秒～６０秒 | ０－１～６３－４ |
| ＴＭＴＮ３３５Ａ | ０秒～６０秒 | ０秒～６０秒 | ０－１～６３－４ |

◆フリーアドレス設定式入力Ｔ／Ｕ（接点入力Ｔ／Ｕ）のアドレス設定を行なうことができます。

### ■スイッチ割付設定機能　入力Ｔ／Ｕ割付設定機能

スイッチ及び入力Ｔ／Ｕへの負荷回路の割付設定をすることができます。
ご使用になるシステム機器により動作する機能が異なりますので、ご使用になる機器と動作する機能対応表をご参照ください。

### ■チェック機能

スイッチ機能、接続端末表示及び割付グループ・パターン確認機能があります。
スイッチ機能－－－設定器を任意のアドレス、機能のスイッチとして動作させることができます。
（タイマ動作はできません）
接続端末表示－－－接続されている端末器のアドレス（回路番号）を液晶表示部に表示します。
割付グループ・パターン－－－伝送ユニット（ＴＭＵＤ９０ＮＡ）に割付済みのグループ，
パターン番号を液晶表示部に表示します。

■ 各種設定

調光センサ照度自動校正、タイムスケジュール設定、日付・時刻設定、消灯遅延時間設定の機能があります。

調光センサ照度自動校正－－－調光センサが照度を正しく検知するためには実際の照度に合わせて校正する必要があります。
照度自動校正機能により、設定器からは指定したパターン番号に割り付けられている全調光センサに対して設計照度を送信します。
（調光センサは照明器具を調光度７０％で点灯し、その明るさを受信した設計照度として校正します。）

タイムスケジュール設定－－－タイムスケジュールに関するデータ（日スケジュール，週間スケジュール，特定日スケジュール，当日スケジュール）を確認、設定、変更することができます。

日付・時刻設定－－－伝送ユニットの日付、時計を確認、設定、変更することができます。

消灯遅延時間設定－－－個別回路(ON/OFF 端末器)に対して消灯遅延時間を設定、変更することができます。

**ご注意**

日付・時刻設定をする際は、送信キーを押した後に必ず確認キーを押して、設定した日付・時刻に誤りがないかを確認してください。

ご使用になるシステム機器により動作する機能が異なりますので、機能対応表をご参照ください。

機能対応表

| システム機器名 | 割付設定機能 | 割付可能負荷回路 | チェック機能 | 各種設定 |
|---|---|---|---|---|
| ＭＥＳＬリモコン<br>伝送ユニット<br>ＴＭＵＤ１０Ａ<br>ＴＭＵＤ２０Ａ | フリーアドレス設定器では割付できません。セレクタスイッチパネルにて割付設定してください | ON/OFF 端末器のみ 0-1～63-4<br>(ｾﾚｸﾀｽｲｯﾁ使用) | スイッチ機能 | |
| ＭＥＳＬリモコン<br>伝送ユニット<br>ＴＭＵＤ１０ＮＡ<br>ＴＭＵＤ２０ＮＡ | グループ<br>パターン<br>ｼｰﾝ(ﾊﾟﾀｰﾝ) ＊５<br>強制パターン<br>光センサ ＊７ | ON/OFF 端末器、<br>調光端末器<br>0-1～63-4 ＊６ | スイッチ機能<br>接続端末表示 | |
| | 調光 | 調光端末器のみ | | |
| ＭＥＳＬリモコン<br>伝送ユニット<br>ＴＭＵＤ９０ＮＡ | グループ<br>パターン<br>ｼｰﾝ(ﾊﾟﾀｰﾝ) ＊５<br>人感センサ入切<br>強制パターン<br>光センサ ＊７ | ON/OFF 端末器<br>0-1～127-4<br>調光端末器<br>0-1～63-4 ＊６<br>調光センサ<br>0-1～127-3<br>人感センサ ＊８<br>0-1～63-4 | スイッチ機能<br>接続端末表示<br>割付ｸﾞﾙｰﾌﾟ／ﾊﾟﾀｰﾝ表示 | 調光センサ照度自動校正<br>ﾀｲﾑｽｹｼﾞｭｰﾙ設定<br>日付・時刻設定<br>消灯遅延時間設定 |
| | 調光スイッチ | 調光端末器のみ | | |
| ＭＥＳＬ－Ｓ<br>主操作盤 | フリーアドレス設定器では割付できません。主操作盤にて割付設定してください | ON/OFF 端末器、<br>調光端末器<br>0-1～63-4 ＊６<br>(主操作盤使用) | スイッチ機能 | |

＊５ シーンはパターンと同じですが、割付設定時（送信キーを押した時）に負荷が点消灯します。
＊６ ＯＮ／ＯＦＦ端末器と調光端末器を同アドレス（回路番号）で重複設定することはできません。
＊７ 光センサには ON/OFF 端末器、調光端末器のみ割り付けすることができます。
＊８ 人感センサ入切スイッチには調光センサ及び人感センサを割り付けることができます。
人感センサ入切スイッチの操作で割り付けられた機器の人感機能を入／切することができます。

※伝送ユニット，主操作盤に関わらず、フリーアドレス式端末器のアドレス設定が可能です。

## ■ その他の機能

### 画面表示

電池交換表示－－－電池の電圧が下がってくると画面右上に マークが表示されます。
マークが表示されたら電池を交換してください。

伝送電圧表示－－－伝送線もしくは端末器から電源供給を受けている時に画面右上に マークが表示されます。

バックライト－－－ライトキーを押すと点灯し、暗い所でも見やすくなります。画面右上に マークが表示されます。 マーク以外が表示されている時は反転表示になります。
ライト キーを押す毎にＯＮ／ＯＦＦします。
１分以上キー操作が行われないとバックライトは自動的に消灯します。
ご注意　バックライトの点灯中は電池の消耗は早くなります。

通信中表示－－－－－スイッチまたは伝送ユニットとの通信中に画面右上に マークが表示されます。このマークが出ている間はお待ちください。

異常表示－－－－－－スイッチまたは伝送ユニットとの通信中に異常が発生すると、約２秒間画面に表示してお知らせします。

> 通信異常です。
> 接続を確認してもう一度、
> 操作してください。

### 順送り

スイッチの機能／アドレス設定やスイッチ機能時に、入力済みのアドレス欄にカーソルを合わせて順送りキーを押すと、次の行に同一機能で＋１されたアドレス（回路No.）が入力されます。
同様に割付設定時に順送りキーを押すと、アドレスのみ＋１された内容で入力されます。

### 消去　全消去

消去キーでカーソル上（反転部）の内容を消去することができます。

全消去キーにより液晶画面に表示されている設定内容を全て消去することができます。１回全消去キーを押すと「全て消しますか？」の確認表示が出ますので、実行したい場合は再度全消去キーを押してください。中止したい場合は全消去以外のキーを押してください。

全消去

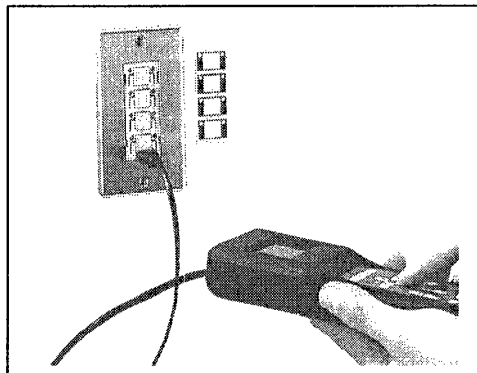
| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| 個 別 | ２１－１ | 一時 0.5 |
| 個 別 | 全て消しますか？ | |
| 個 別 | ２１－３ | |
| 個 別 | ２１－４ | |

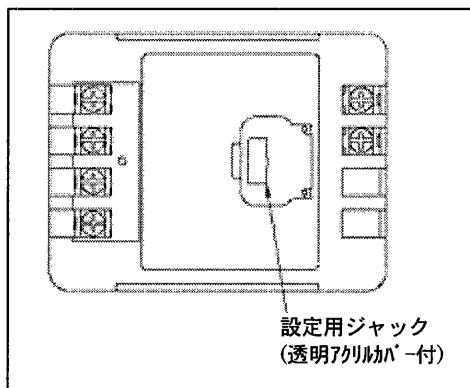
全消去

| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| | | |

> **ご注意**
> 消去、全消去は液晶画面上の表示内容を消去するだけで、スイッチや伝送ユニット（ＭＥＳＬリモコン）には記憶（送信）されません。
> 消去内容を反映させるには、送信キーを押してください。

## ３．フリーアドレス設定器の接続方法

スイッチの場合

①スイッチの化粧カバーを外します。
②設定器の信号線プラグをスイッチのジャックに差し込みます。差し込み方向に注意してください。
③設定器の電源スイッチをＯＮにします。
　システム稼働中はＭＥＳＬ伝送線より給電されます。
④設定器の液晶表示部にメニュー画面が表示されます。
⑤設定操作をします。
⑥スイッチからプラグを抜きます。
⑦スイッチの化粧カバーを取付けます。

制御Ｔ／Ｕ、入力Ｔ／Ｕの場合

①Ｔ／Ｕの設定用ジャックカバーを開けます。
②設定器の信号線プラグをＴ／Ｕのジャックに差し込みます。
　差し込み方向に注意してください。
③設定器の電源スイッチをＯＮにします。
　システム稼働中はＭＥＳＬ伝送線より給電されます。
　（一部Ｔ／Ｕは端末器電源より供給されます）
④設定器の液晶表示部にメニュー画面が表示されます。
⑤設定操作をします。
⑥Ｔ／Ｕのジャックからプラグを抜きます。
⑦Ｔ／Ｕの設定用ジャッカバーを閉じます。

**ご注意**
設定器を同時に２台以上接続して割付設定したり、リモコン主操作器、LCD主操作器と設定器を同時に使用すると誤った割付になる場合があります。
機能／アドレス設定を行う場合は複数台の同時設定ができます。

メニュー画面
設定器の電源スイッチをＯＮすると、下図のいずれかの画面が表示されます。

| メニュー　　　Ｖ３．０ |
|---|
| **１．機能／アドレス設定** |
| ２．スイッチ割付設定 |
| ３．入力Ｔ／Ｕ割付設定 |
| ４．チェック機能 |

ＭＥＳＬリモコンシステム
伝送ユニット TMUD90NA, TMUD10NA, TMUD20NA 使用時

| メニュー　　　Ｖ３．０ |
|---|
| **１．機能／アドレス設定** |
| ２．チェック機能 |

ＭＥＳＬ－Ｓシステム
（左記以外の時）

## ■ 使用上のご注意

信号線接続-----信号線をフリーアドレス設定器、スイッチ及びＴ／Ｕに接続する際は、逆差しや無理な差し込みをしないようご注意ください。設定中に通信エラーになる場合は、再度差し込みを確認してください。
ＭＥＳＬ信号線消費電流（最大４０ｍＡ）を考慮して接続してください。

使用乾電池-----単４アルカリ電池１．５Ｖ×４本をご使用ください。
マンガン電池もご使用いただけますが、ご利用できる期間が短くなります。

割付設定-------ＭＥＳＬリモコンシステムでスイッチ割付設定、入力Ｔ／Ｕ割付設定、チェック機能、各種設定を行う場合は、伝送ユニットの電源を立ち上げてから約３分以上経過した後に、設定器の電源をＯＮにしてください。
また割付操作後、１分以上経過してから伝送ユニットの電源をＯＦＦしてください。
（割付設定できる伝送ユニットは TMUD90NA, TMUD10NA, TMUD20NA に限ります。）

## 4．設定操作の説明

各種設定操作画面の体系（階層）は以下の通りです。

## ■ 機能／アドレス設定 → スイッチの設定

**①スイッチに設定器を接続する**
フリーアドレス設定器の接続方法(P7)に従い
スイッチに信号線を接続します。

メニュー
1．機能／アドレス設定
2．チェック機能

**②機能／アドレス設定を選択する**
メニュー画面の「1．機能/アドレス設定」をカーソルキー▼ ▲で選択し、確定 キーを押します。

機能／アドレス設定
1．スイッチの設定
2．制御Ｔ／Ｕの設定
3．入力Ｔ／Ｕの設定

**③設定する機器の選択**
メニュー画面の中の「1．スイッチの設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、確定 キーを押します。

| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| | | |

**④設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は設定内容が表示されます。

| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| | | |

**⑤機能を選択する**
＋１(－１)キーを押して機能を選択します。
＋１ キーを押すごとに、
個別 → ｸﾞﾙｰﾌﾟ → ﾊﾟﾀｰﾝ → 調光 →ｵｰﾙｵﾝ →
ｵｰﾙｵﾌ → 人感入切 → 個別と変わります。
(－１ キーは逆となります。)
調光は、機能欄の一番上にカーソルがある場合に設定できます。

例 グループに設定

| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| グループ | | |

**⑥アドレスを入力する**
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、＋10 －10 ＋１ －１ キーを使用してアドレスを入力します。
１個目の機能、アドレスを入力した時点で（カーソルがアドレス欄にある時)、順送りキーを押すと、２個目以降に同一機能で＋１したアドレスが設定されます。

例 １１－１に設定

| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| グループ | １１－１ | |

**⑦時間を設定する**
タイマー時間を設定する場合は時間の欄にカーソルを移動し、＋１ －１キーでタイマー種類を選択します。
＋１キーを押す毎に、
一時 0.5→一時１→一時２→一時３→一時５→
一時 10→一時 15→一時 30→一時 60→一時 120→
遅延 0.5→遅延１→遅延２→遅延３→遅延５→
遅延 10→遅延 15→遅延 30→遅延 60→遅延 120

例 一時点灯１分に設定

| 機能 | アドレス | 時間(分) |
|---|---|---|
| グループ | １１－１ | 一時　１ |

**⑧設定データを送信する**
全ての入力を終えたら、送信キーを押すとピッと鳴って設定内容がスイッチに記憶されます。
続けて他のスイッチの設定を行う場合は、信号線プラグを設定したいスイッチに差し換えて④～⑧（電池が入っている場合）を繰り返してください。

## ■ 機能／アドレス設定 → 制御Ｔ／Ｕの設定

**①制御Ｔ／Ｕに設定器を接続する**
フリーアドレス設定器の接続方法(P7)に従い
制御Ｔ／Ｕに信号線を接続します。

メニュー
1．機能／アドレス設定
2．チェック機能

**②機能／アドレス設定を選択する**
メニュー画面の「1.機能/アドレス設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、確定 キーを押します。

機能／アドレス設定
1．スイッチの設定
2．制御Ｔ／Ｕの設定
3．入力Ｔ／Ｕの設定

**③設定する機器の選択**
メニュー画面の中の「2．制御Ｔ／Ｕの設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、確定 キーを押します。

| アドレス | ◁ 時間 | ▷ 時間 |
|---|---|---|
| ■ | | |

**④設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定され
ている場合は設定内容が表示されます。

| アドレス | ◁ 時間 | ▷ 時間 |
|---|---|---|
| ■ | | |

**⑤アドレスを入力する**
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し
＋10 －10 ＋1 －1 キーを使用してアドレスを
入力します。１個目の機能、アドレスを入力し
た時点で順送りキーを押すと、２個目以降に同
一機能で＋１したアドレスが設定されます。

例 １１－１に設定

| アドレス | ◁ 時間 | ▷ 時間 |
|---|---|---|
| １１－１ | | |

**⑥フェードイン時間を設定する**
フェードイン時間を設定する場合は　時間の欄
にカーソルを移動して＋１０ －１０ ＋１ －１
キーで時間を入力します。
何も入力しない場合は０秒として設定されます。

例 ﾌｪｰﾄﾞｲﾝ時間５秒

| アドレス | ◁ 時間 | ▷ 時間 |
|---|---|---|
| １１－１ | ５秒 | |

**⑦フェードアウト時間を設定する**
フェードアウト時間を設定する場合は　時間の
欄にカーソルを移動して＋１０ －１０ ＋１
－１キーで時間を入力します。
何も入力しない場合は０秒として設定されます。

例 ﾌｪｰﾄﾞｱｳﾄ時間１０秒

| アドレス | ◁ 時間 | ▷ 時間 |
|---|---|---|
| １１－１ | ５秒 | １０秒 |

**⑧設定データを送信する**
全ての入力を終えたら、送信キーを押すとピッと鳴って設定内容が制御Ｔ／Ｕに記憶されます。
続けて他の入力Ｔ／Ｕの設定を行う場合は、信号線プラグを設定したい入力Ｔ／Ｕに差し換えて④
～⑧（電池が入っている場合）を繰り返してください。

## ■ 機能／アドレス設定 → 入力T／Uの設定

**①入力T／Uに設定器を接続する**
フリーアドレス設定器の接続方法(P7)に従い
入力T／Uに信号線を接続します。

メニュー
1．機能／アドレス設定
2．チェック機能

**②機能／アドレス設定を選択する**
メニュー画面の「1．機能/アドレス設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、確定 キーを押します。

機能／アドレス設定
1．スイッチの設定
2．制御T／Uの設定
3．入力T／Uの設定

**③設定する機器の選択**
メニュー画面の中の「3．入力T／Uの設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、確定 キーを押します。

| 機能 | アドレス | |
|---|---|---|
| | | |

**④設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は設定内容が表示されます。

| 機能 | アドレス | |
|---|---|---|
| | | |

**⑤機能を選択する**
＋1 (－1) キーを押して機能を選択します。
＋1 キーを押すごとに監視 → 個別 → ｸﾞﾙｰﾌﾟ → ﾊﾟﾀｰﾝ → 強制 → 監視と変わります。
(－1 キーは逆となります。)

**例 グループに設定**

| 機能 | アドレス | |
|---|---|---|
| グループ | | |

**⑥アドレスを入力する**
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、＋10 －10 ＋1 －1 キーを使用してアドレスを入力します。
1個目の機能、アドレスを入力した時点で（カーソルがアドレス欄にある時）、順送りキーを押すと、2個目以降に同一機能で＋1したアドレスが設定されます。

**例 11－1に設定**

| 機能 | アドレス | |
|---|---|---|
| グループ | 11－1 | |

**⑦設定データを送信する**
全ての入力を終えたら、送信キーを押すとピッと鳴って設定内容が入力T／Uに記憶されます。
続けて他の入力T／Uの設定を行う場合は、信号線プラグを設定したい入力T／Uに差し換えて④～⑦（電池が入っている場合）を繰り返してください。

## ■ スイッチ割付設定 → グループ割付設定

**①スイッチに設定器を接続する**
フリーアドレス設定器の接続方法(P7)に従いスイッチに設定器信号線を接続します。
既に設定器を接続済みで他の設定操作を行っていた場合はメニューキーを押してメニュー画面にしてください。

メニュー
1．機能／アドレス設定
2．スイッチ割付設定
3．入力T／U割付設定
4．チェック機能

**②スイッチ割付設定を選択する**
メニュー画面の「2．スイッチ割付設定」をカーソルキー ▼ ▲で選択し、確定キーを押します。

スイッチ割付設定
1．グループ割付設定
2．パターン割付設定
3．調光割付設定
4．シーン割付設定

**③グループ割付設定を選択する**
「1．グループ割付設定」を選択し、確定キーを押します。

グループ番号

**④グループ番号を入力する**
設定したいグループスイッチのアドレスを+10 −10 +1 −1 キーを使用して入力します。

例 10−2を入力

グループ番号 10−2

**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。
表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲ ▼ を使用して画面を1行ずつスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

グループ番号 10−2

**⑥負荷回路番号を入力する**
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を+10 −10 +1 −1 キーを使用して入力します。
複数回路を割り付けする場合は、カーソルキーを使用してカーソルを移動した後で割り付けしたい負荷回路番号を入力してください。

| グループ番号 | 10−2 | |
|---|---|---|
| 1−1 | 1−2 | 8−2 |

**⑦割付データを送信する**
割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、送信 キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。
続けて次のグループ割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

## ■ スイッチ割付設定 → パターン割付設定 シーン割付設定

①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)

②「2．スイッチ割付設定」を選択する

**③パターン割付設定を選択する**
カーソルキー▲ ▼ で「2．パターン割付設定」を選択し、確定 キーを押します。

⇒

| パターン番号 | ■■■ |
|---|---|

**④パターン番号を入力する**
設定したいパターンスイッチのアドレスを＋10 －10 ＋1 －1 キーを使って入力します。

例 １９－４を入力

| パターン番号 | １９－４ |
|---|---|

**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲ ▼ を使って画面を１行ずつスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

| パターン番号 | １９－４ |
|---|---|

**⑥負荷回路番号を入力する**
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を ＋10 －10 ＋1 －1 キーを使って入力します。

| パターン番号 | １９－４ |
|---|---|
| 0－1 ● | 0% |

**⑦点灯状態を設定する**
点灯 キーまたは消灯 キーで点灯状態を決めます。
○で点灯
●で消灯です。

例 点灯に設定

| パターン番号 | １９－４ |
|---|---|
| 0－1 ○ | 100% |

**⑧調光レベルを設定する**
調光アップ キーまたは調光ダウン キーで調光レベルを設定してください。調光レベルは０～１００％の範囲で１％刻みで設定できます。
ＯＮ／ＯＦＦ端末器の場合は、調光レベルの設定はありません。調光センサの場合は、行頭に「Ｄ」、が表示されます。調光アップ、調光ダウンキーで調光レベルまたは目標照度を設定してください。
目標照度は０～３１５０ｌｘの範囲で５０ｌｘ刻みで設定できます。

例 ９０％に設定

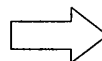
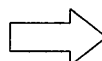
| パターン番号 | １９－４ |
|---|---|
| 0－1 ○ | 90% |

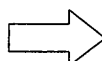
**⑨割付データを送信する**
⑥～⑧により割付したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。シーン割付設定の場合は、負荷が点灯・調光・消灯されます。
続けて次のパターン割付を行う場合は、④～⑨を繰り返します。

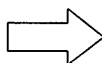
## ■ スイッチ割付設定 → 調光割付設定

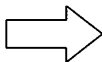
①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)

②「2．スイッチ割付設定」を選択する

**③調光割付設定を選択する**
カーソルキー ▼ ▲で「3．調光割付設定」を選択し、確定 キーを押します。

**④調光番号を入力する**
設定したい調光スイッチのアドレスを+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。

例 0－2を入力

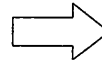
**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。
表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲ ▼ を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

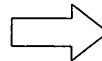
**⑥負荷回路番号を入力する**
割付したい負荷回路番号（調光端末器アドレス、調光センサ）を+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。調光センサの場合は負荷回路番号の先頭に「D」が表示されます。

例 1－1に設定

**⑦割付データを送信する**
割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、送信 キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。
続けて次の調光割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

## ■ スイッチ割付設定 → 人感入切割付設定

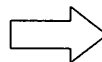
**①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)**

**②「2．スイッチ割付設定」を選択する**

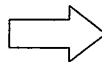
**③人感入切割付設定を選択する**
カーソルキー ▼ ▲で「5．人感入切割付設定」を選択し、確定 キーを押します。

| 人感入切番号 | | ■ |
|---|---|---|
| | | |

**④人感入切番号を入力する**
設定したい人感入切スイッチの番号を +10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。

例 0－1を入力

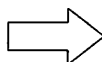
| 人感入切番号 | | 0－1 |
|---|---|---|
| | | |

**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。
表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲ ▼ を使って画面を１行ずつスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

| 人感入切番号 | | 0－1 |
|---|---|---|
| ■ | | |

**⑥負荷回路番号を入力する**
割付したい負荷回路番号（調光センサアドレス、人感センサアドレス）を +10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。調光センサの場合は負荷回路番号の先頭に「D」が表示されます。

例 1－1に設定

| 人感入切番号 | | 0－1 |
|---|---|---|
| 1−1 | | |

**⑦割付データを送信する**
割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、送信 キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。
続けて次の人感入切割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

| 人感入切 | | 0－1 |
|---|---|---|
| 1−1 | 2−1 | D 2−2 |
| D 4 | D 100 | |

## ■ 入力T／U割付設定 → 強制パターン割付設定

**①スイッチもしくは制御T／U、入力T／Uに設定器を接続する(P7 参照)**

メニュー
1．機能／アドレス設定
2．スイッチ割付設定
3．入力T／U割付設定
4．チェック機能

---

**②入力T／U割付設定を選択する**
メニュー画面の「3．入力T／U割付設定」をカーソルキー ▼ ▲で選択し、確定キーを押します。

入力T／U割付設定
1．強制パターン割付設定
2．光センサ割付設定

---

**③強制パターン割付設定を選択する**
カーソルキー▲ ▼ で「1．強制パターン割付設定」を選択し、確定キーを押します。

強制Ｐ番号

---

**④強制パターン番号を入力する**
設定したい強制パターン制御用接点入力T／Uのアドレスを+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。

**例 0－4を入力**

強制Ｐ番号　0－4

---

**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベル、調光センサの場合は人感機能が表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲ ▼ を使って画面を１行ずつスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

強制Ｐ番号　0－4

---

**⑥負荷回路番号を入力する**
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。

**例 0－1を入力**

強制Ｐ番号　0－4
0−1 ● 0%

---

**⑦点灯状態を設定する**
点灯 キーまたは消灯 キーで点灯状態を決めます。○で点灯、●で消灯です。

調光端末器の場合、調光レベルを設定しても点灯時は常に１００％になります。
調光センサの場合は、行頭に「D」、が表示されます。調光アップ、調光ダウンキーで 人感機能の入／切を設定してください。

**例 点灯に設定**

強制Ｐ番号　0－4
0−1 ○ 100%

---

**⑧割付データを送信する**
⑥～⑦により割付したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニット に割付内容を送信し記憶します。
続けて次の強制パターン割付を行う場合は、④～⑧を繰り返します。

## ■ 入力T／U割付設定 → 光センサ割付設定

①スイッチもしくは制御T／U、入力T／Uに設定器を接続する(P7 参照)

②「3．入力T／U割付設定」を選択する

**③光センサ割付設定を選択する**
カーソルキー▲ ▼ で「2．光センサ割付設定」を選択し、確定キーを押します。

**④光センサ番号を入力する**
設定したいグループ制御用接点入力T／Uのアドレスを+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。

※グループ制御で使用していないアドレスを光センサ番号として使用してください。
光センサは４入力まで設定できます。

例 ６３−１を入力

**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲ ▼ を使って画面を１行ずつスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

**⑥負荷回路番号を入力する（ＯＮ／ＯＦＦ端末器）**
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。
表示は常に消灯●となります。

例 ０− １を入力

**⑦負荷回路番号を入力する（調光端末器）**
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を+10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。
表示は常に消灯● ０になります。

例 ０− ２を入力

**⑧調光レベルを設定する**
調光アップ キーまたは調光ダウン キーで調光レベルを設定してください。調光レベルは０〜１００％の範囲で１％刻みで設定できます。
ＯＮ／ＯＦＦ端末器の場合は、調光レベルの設定はできません。

例 ０−２を５０％に設定

**⑨割付データを送信する**
割付したい負荷回路番号、点灯状態、調光レベルを全て入力し終わったら、送信キーを押します。
ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。
続けて次の光センサ割付を行う場合は、④〜⑨を繰り返します。

## ■ チェック機能 → スイッチ機能

**①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)**

メニュー
1．機能／アドレス設定
2．スイッチ割付設定
3．入力T／U割付設定
4．チェック機能

**②チェック機能を選択する**
カーソルキー ▼ ▲ で「4．チェック機能」を選択し、確定 キーを押します。

チェック機能
1．スイッチ機能
2．接続端末
3．割付グループ／パターン

**③スイッチ機能を選択する**
カーソルキー ▼ ▲ で「1．スイッチ機能」を選択し、確定 キーを押します。

**④機能を選択する**
＋1 (－1) キーを押して機能を選択します。
＋1 キーを押す毎に、個別→ｸﾞﾙｰﾌﾟ→ﾊﾟﾀｰﾝ→調光→ｵｰﾙｵﾝ→ｵｰﾙｵﾌ→人感入切→個別と変わります。(－1 キーは逆となります。)
４ボタン分までの設定ができます。

**例 調光に設定**

**⑤アドレスを入力する**
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、＋10 －10 ＋1 －1 キーを使ってアドレスを入力します。
オールオン、オールオフの場合は、アドレスの設定は必要ありません。

**例 9－3に設定**

**⑥スイッチのボタン操作をする**
点灯キーを押すとスイッチの１ボタン目を押した信号を出します。
消灯キーを押すとスイッチの２ボタン目を押した信号を出します。
全点灯キーを押すとスイッチの３ボタン目を押した信号を出します。
全消灯キーを押すとスイッチの４ボタン目を押した信号を出します。

## ■ チェック機能 → 接続端末

①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)

②チェック機能を選択する

③接続端末を選択する
カーソルキー ▼ ▲ で「2.接続端末器」を選択し
確定 キーを押します。
接続されている端末器アドレスを表示します。

| 接続端末器 | | |
|---|---|---|
| 1−1 | 2−1 | 2−2 |
| 2−3 | 2−4 | 12−1 |
| 12−2 | 12−3 | 12−4 |
| D 2− | D 2− | D 2− |

## ■ チェック機能 → 割付グループ/パターン

①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)

②チェック機能を選択する

③割付グループ/パターンを選択する
カーソルキー ▼ ▲ で「3.割付グループ/パターン」を選択し確定 キーを押します。
既に割り付けされているグループ，パターン番号を表示します。
「G」はグループ番号，「P」はパターン番号を表します。

| 割付G/P番号 | | |
|---|---|---|
| G 0−1 | G 63−1 | G 63−4 |
| P 10−1 | P 10−2 | P 21−1 |
| P 31−1 | | |

④割付設定画面への移行
カーソルキーで所望のグループ番号またはパターン番号を選択して確認キーを押すと、その割付画面へ移行します。割付方法はグループまたはパターン割付設定方法と同様です。

## ■ 各種設定 → 調光センサ照度自動校正

**①スイッチに設定器を接続する**

フリーアドレス設定器の接続方法(P7)に従いスイッチに設定器信号線を接続します。
既に設定器を接続済みで他の設定操作を行っていた場合は[メニュー]キーを押してメニュー画面にしてください。

| メニュー |
|---|
| 2．スイッチ割付設定 |
| 3．入力T／U割付設定 |
| 4．チェック機能 |
| 5．各種設定 |

**②各種設定を選択する**

カーソルキー [▼] [▲] で「5．各種設定」を選択し、[確定] キーを押します。

| 各種設定 |
|---|
| 1．調光センサ照度自動校正 |
| 2．スケジュール設定 |
| 3．日付・時刻設定 |
| 4．消灯遅延時間設定 |

**③調光センサ照度自動校正を選択する**

カーソルキー[▼] [▲] で「1．調光センサ照度自動校正」を選択し、[確定] キーを押します。

**④校正するパターン番号を入力する**

パターンに割り付けられている全調光センサを一括して照度自動校正します。校正したいパターン番号を[＋10] [－10] [＋1] [－1]キーを使って入力します。

| パターン | 照度（ｌｘ） |
|---|---|
| ０－４ | |

**⑤校正照度値を入力する**

カーソルキーで照度欄にカーソルを移動し、[＋10] [－10] [＋1] [－1] キーを使って照度を入力します。[＋10] [－10] キーで 100lx ずつの増減、[＋1] [－1] キーで 50lx ずつ照度が増減します。

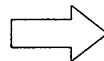
例 ５５０ｌｘを入力

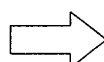
| パターン | 照度（ｌｘ） |
|---|---|
| ０－４ | ５５０ |

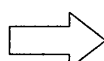
**⑥校正データを送信する**

④，⑤により校正したいパターン番号と校正照度を入力したら、[送信]キーを押します。ピッと鳴って校正内容を送信します。
続けて他の調光センサの照度自動校正を行う場合は、④～⑥を繰り返します。

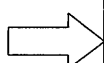
**①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)**

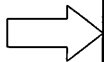
**②各種設定を選択する**
メニュー画面の「5．各種設定」を
カーソルキー ▼ ▲ で選択し、
確定キーを押します。

| 各種設定 |
|---|
| 1．調光センサ照度自動校正 |
| **2．スケジュール設定** |
| 3．日付・時刻設定 |
| 4．消灯遅延時間設 |

**③スケジュール設定を選択する**
「2．スケジュール設定」をカーソルキー ▼ ▲
で選択し、確定キーを押します。

| スケジュール設定 |
|---|
| **1．日スケジュール設定** |
| 2．週間スケジュール設定 |
| 3．特定日スケジュール設定 |
| 4．当日スケジュール設定 |

**④日スケジュール設定を選択する**
「1．日スケジュール設定」を選択し、確定キーを
押します。

| 日スケジュール番号 | | | |
|---|---|---|---|
| 001 | | | |
| 002 | | | |
| 003 | | | |
| 004 | | | |

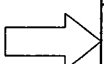
**⑤日スケジュール番号を入力する**
設定したい日スケジュール番号を +1 −1キー
を使って入力します。

**例** 2を入力

| 日スケジュール番号 2 | | | |
|---|---|---|---|
| 001 | | | |
| 002 | | | |
| 003 | | | |
| 004 | | | |

**⑥設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合はグループ／パターン番号，制御時間，制御内容が表示されます。番号先頭のＧ表示はグループ番号，Ｐ表示はパターン番号を表します。また、○表示はグループ点灯またはパターン選択，●表示はグループ消灯を表します。
表示以上の設定内容がある場合は、カーソルキー
▼ ▲を使って画面をスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

| 日スケジュール番号 2 | | | |
|---|---|---|---|
| 001 | G 0-1 | 09:00 | ○ |
| 002 | G 10-2 | 09:00 | ○ |
| 003 | ■ | | |
| 004 | | | |

**⑦グループ／パターン番号を入力する**
設定したいグループまたはパターン番号を+10
−10 +1 −1 キーを使って入力します。
制御時間，制御内容は初期値として 00：00 と
○が表示されます。
設定内容を消去したいときはグループまたはパターン番号にカーソルを移動し、消去キーを押します。

**例** グループ０－２を入力する

| 日スケジュール番号 2 | | | |
|---|---|---|---|
| 001 | G 0-1 | 09:00 | ○ |
| 002 | G 10-2 | 09:00 | ○ |
| 003 | **G 0-2** | 00:00 | ○ |
| 004 | | | |

**⑧制御時間を入力する。**
設定したい制御時間を[+10] [−10] [+1] [−1] キーを使って入力します。
[+10] [−10]キーで時表示が増減、[+1] [−1]キーで分表示が増減します。

**例 19：00を入力する**

**⑨制御内容を入力する。**
設定したい制御内容を[点灯] [消灯] キーを使って入力します。
[点灯]キーでグループ点灯またはパターン選択、[消灯]キーグループ消灯を設定します。

**例 グループ消灯を入力する**

**⑩設定データを送信する**
⑦〜⑨により設定したい内容を全て入力したら、[送信]キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに設定内容を送信し記憶します。
続けて次の日スケジュール設定を行う場合は⑤〜⑩を繰り返します。

※日スケジュールは８日分設定できます。
※日スケジュール１日分は最大２５６ステップまで設定できます。

## ■ 各種設定 → スケジュール設定 → 週間スケジュール設定

**①スイッチに設定器を接続する（P7 参照）**

**②「5．各種設定」を選択する**

**③「2．スケジュール設定」を選択する**

**④週間スケジュール設定を選択する**
「2．週間スケジュール設定」を選択し、[確定]キーを押します。

**⑤設定内容の確認**
[確認]キーを押すとピッとなって、既に設定されている場合は各曜日と日スケジュール番号が表示されます。

**※この操作は必ず行ってください。**

**⑥日スケジュール番号を入力する**
設定したい曜日の日スケジュール番号欄にカーソルを移動し、[+1] [−1]キーで日スケジュール番号を選択します。[消去]キー操作で無表示にするとその曜日には日スケジュール番号を設定しないことになります。

**例 日スケジュール番号４を入力する**

## ■ 各種設定 → スケジュール設定 → 週間スケジュール設定

**⑦設定データを送信する**
⑥の操作により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに設定内容を送信し記憶します。

ご注意
**週間スケジュール設定内容は当日のスケジュール動作には反映されませんが、当日スケジュール設定画面にてその内容を当日に反映させることができます。**

## ■ 各種設定 → スケジュール設定 → 特定日スケジュール設定

**※ありえない日付は設定しないでください**

**①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)**

**②「5．各種設定」を選択する**

**③「2．スケジュール設定」を選択する**

**④特定日スケジュール設定を選択する**
「3．特定日スケジュール設定」を選択し、確定キーを押します。

| | 年 | 月 | 日 | 番号 |
|---|---|---|---|---|
| 01 | ■ | | | |
| 02 | | | | |
| 03 | | | | |
| 04 | | | | |

**⑤設定内容の確認**
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は年・月・日・日スケジュール番号が表示されます。
表示以上の設定内容がある場合は、カーソルキー▼ ▲を使って画面をスクロールすることができます。

**※この操作は必ず行ってください。**

| | 年 | 月 | 日 | 番号 |
|---|---|---|---|---|
| 01 | 02 | 11 | 03 | 2 |
| 02 | 02 | 12 | 23 | 3 |
| 03 | 03 | 01 | 01 | 2 |
| 04 | | | | |

**⑥年・月・日・日スケジュール番号を入力する**
設定したい年・月・日・日スケジュール番号を +10 −10 +1 −1 キーを使って入力します。
最大５０日分の設定が可能です。
設定内容を消去したいときは年の欄にカーソルを移動し、消去キーを押します。
スケジュール制御しない特定日を設定する場合は、データを設定していない日スケジュール番号を設定してください（週間スケジュールを無効にする場合など)。

**例 ０３年を入力する**

| | 年 | 月 | 日 | 番号 |
|---|---|---|---|---|
| 01 | 02 | 11 | 03 | 2 |
| 02 | 02 | 12 | 23 | 3 |
| 03 | 03 | 01 | 01 | 2 |
| 04 | 03 | | | |

**⑦設定データを送信する**
⑥により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに設定内容を送信し記憶します。

※特定日は最大５０まで設定できます。

ご注意
**特定日スケジュール設定内容は当日のスケジュール動作には反映されませんが、当日スケジュール設定画面にてその内容を当日に反映させることができます。**

## ■ 各種設定 → スケジュール設定 → 当日スケジュール設定

**①スイッチに設定器を接続する(P7 参照)**

**②「5．各種設定」を選択する**

**③「2．スケジュール設定」を選択する**

**④当日スケジュール設定を選択する**

「4．当日スケジュール設定」を選択し、確定キーを押します。
既に当日スケジュールが設定されていればその内容が表示されます。
この画面内で 確認キー を押すことより、当日に特定日スケジュールもしくは週間スケジュールが設定されていればその内容が表示されます。

確定

| 当日スケジュール | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | G 0-1 | 09:00 | ○ |
| 2 | G 10-2 | 09:00 | ○ |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

**⑤グループ／パターン番号を入力する**

設定したいグループまたはパターン番号を＋10 －10 ＋1 －1 キーを使って入力します。
制御時間，制御内容は初期値として 00：00 と○が表示されます。
設定内容を消去したいときはグループまたはパターン番号にカーソルを移動し、消去キーを押します。

**例 グループ０－２を入力する**

| 当日スケジュール | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | G 0-1 | 09:00 | ○ |
| 2 | G 10-2 | 09:00 | ○ |
| 3 | G 0-2 | 00:00 | ○ |
| 4 | | | |

**⑥制御時間を入力する。**

設定したい制御時間を＋10 －10 ＋1 －1 キーを使って入力します。
＋10 －10キーで時表示が増減、＋1 －1キーで分表示が増減します。

**例 １９：００を入力する**

| 当日スケジュール | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | G 0-1 | 19:00 | ○ |
| 2 | G 10-2 | 19:00 | ○ |
| 3 | G 0-2 | 19:00 | ○ |
| 4 | | | |

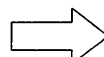
**⑦制御内容を入力する。**

設定したい制御内容を点灯 消灯 キーを使って入力します。
点灯キーでグループ点灯またはパターン選択、消灯キーグループ消灯を設定します。

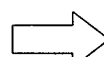
**例 グループ消灯を入力する**

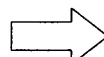
| 当日スケジュール | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | G 0-1 | 19:00 | ○ |
| 2 | G 10-2 | 19:00 | ○ |
| 3 | G 0-2 | 19:00 | ● |
| 4 | | | |

**⑧設定データを送信する**

⑤～⑦により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに設定内容を送信し記憶します。
送信キーを押した後に確認キーを押すと当日スケジュールに設定した内容ではなく特定日スケジュールまたは週間スケジュールが表示されることに注意してください。

## ■ 各種設定 → 日付・時刻設定

**※ありえない日付は設定しないでください**

**①スイッチに設定器を接続する（P7 参照）**

**②「5．各種設定」を選択する**

**③日付・時刻設定を選択する**
「3．日付・時刻設定」を選択し、確定キーを押します。

**④現在時刻の確認**
確認キーを押すとピッとなって、伝送ユニットに設定されている現在の日付と時刻が表示されます。

**⑤日付・時刻を入力する**
設定したい年・月・日・時・分を＋10 －10 ＋1 －1 キー及びカーソルキーを使って選択します。
曜日は選択された年月日から自動表示されます。

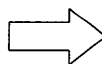
**⑥設定データを送信する**
⑤の操作により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに設定内容を送信し記憶します（設定した「分」の０秒に設定されます）。

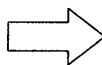
**※設定した内容に誤りがないか、確認キーを押して設定内容を確認してください。**

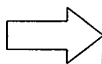
## ■ 各種設定 → 消灯遅延時間設定

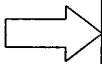
①スイッチに設定器を接続する(P7)

②「5．各種設定」を選択する

③消灯遅延時間設定を選択する
「4．消灯遅延時間設定」を選択し、確定キーを押します。

| アドレス | 消灯遅延時間(分) |
|---|---|
| | |

④設定内容の確認
確認キーを押すとピッとなって、すでに消灯遅延時間が設定されているアドレスと設定されている消灯遅延時間が表示されます。

| アドレス | 消灯遅延時間(分) |
|---|---|
| 0－1 | 1 |
| 0－2 | 0．5 |

⑤アドレスを選択する
+10 −10 +1 −1 キーで消灯遅延時間を設定する個別 ON/OFF 回路のアドレスを選択します。

| アドレス | 消灯遅延時間(分) |
|---|---|
| 0－1 | 1 |
| 0－2 | 0．5 |
| 0－4 | |

⑥消灯遅延時間を選択する
カーソルキーで消灯遅延時間を設定する
アドレスの消灯遅延時間欄にカーソルを移動し、+1 −1 キーで消灯遅延時間を選択します。
消灯遅延時間は 0.5→1→2→3→5→10→15→30→60→120→0.5 と変わります。

| アドレス | 消灯遅延時間(分) |
|---|---|
| 0－1 | 1 |
| 0－2 | 0．5 |
| 0－4 | 10 |

⑦設定データを送信する
⑤，⑥の操作により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに設定内容を送信し記憶します。

## 仕　様

| | |
|---|---|
| 電　源 | 単４アルカリ電池１．５Ｖ　４本（別売品）<br>システム稼動中はＭＥＳＬ伝送線より給電 |
| MESL信号<br>消費電流 | ４０ｍＡ<br>（バックライト点灯時　５０ｍＡ） |
| 機　能 | ・スイッチの機能、タイマー及びアドレスの設定<br>機　能：個別制御、グループ制御、パターン制御、調光<br>オールオン、オールオフ，人感センサ入切<br>タイマー：一時点灯、消灯遅延<br>・制御Ｔ／Ｕのアドレス及びフェード時間の設定<br>・入力Ｔ／Ｕのアドレスの設定<br>・スイッチ機能<br>任意のスイッチとして動作できます。<br>（タイマー動作は不可）<br>・ＭＥＳＬリモコンのみの機能<br>割付設定機能（グループ、パターン、調光、シーン、<br>人感センサ入切、強制パターン、光センサ）<br>接続端末表示<br>割付済みグループ・パターン表示<br>調光センサ自動照度校正<br>タイムスケジュール設定<br>日付・時刻設定<br>個別回路消灯遅延時間設定 |
| 形　状 | ハンディタイプ（吊り下げひも付き） |
| 色 | オフブラック |
| 付属品 | 信号線（プラグ付き４芯ケーブル）約５０cm　１本<br>本体ケース（ビニール製）　１個<br>取扱説明書　１部 |

## ■ お手入れのしかた

●柔らかい乾いた布で拭いてください。
●汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼって拭いてください。
●設定器本体はプラスチック製ですので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの
薬品，洗剤等で拭かないでください。

東芝ライテック株式会社　電材照明社　〒410-031 静岡県沼津市原2608番地58　TEL (055) 968-8401　FAX(055)968-8399

（０６１１３）Ａ



<生産完了 2007年05月25日>
TMAD01B (28 / 28)